

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		平成8年度～		根拠法令・規程等	
総合計画	大項目	基本目標	01		安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01		生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	11		道路
事務事業名		01	国道等整備促進事業		
		担当課(室)	都市整備課		
		職・氏名	管理係長・岸本豊弘		
		電話	0869-64-1833		

事業の実施		国土交通省、岡山県、地域住民
対象(誰・何に対して)	目的(何のために)	国道等を整備することにより、地域の活性化を図ることを目的とする
行政活動(どのような方法で)	事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	整備促進期成会を置き、各市町の地域間の情報交換及び交流を図りながら、相互協力のもと国へ道路整備の促進要望をしていく。 国道等の整備により、地域の安全、活性化を図りたい。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	国道2号整備促進要望	件数	5	5	5
実績	国道2号整備促進要望先	〃	60	60	60
	事業費	千円	386	362	342
業績	必要人員	人	0.33人	0.15人	0.12人
	事業費	千円	3,174	1,358	848
財源	事業費	千円	3,560	1,720	1,190
	国・県・市・その他	千円			
受益者負担比率		%			

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	結果指標量	件数	5	5	5
	対前年対比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000
	単位当たりコスト	円	400,000	400,000	400,000
結果指標②	結果指標量	-			
	対前年対比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
要望実施箇所数	目標値(A)	5	5	5	5
	実績値(B)	5	5	5	到達目標年度
	達成率(B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
要望実施箇所数(B) / 要望箇所数(A)					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> 判定理由・課題認識 地域住民が安全・安心して快適な生活が送れるよう道路整備を推進するため、国をはじめ関係機関へ要望していく。
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 整備の早期実現を図るために、関係市町と連携を図りながら効率よく推進していく。	
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 早期実現に向けて粘り強く要望していく。	

平成21年度の状況		目標値 結果指標量① 要望実施箇所数 結果指標量② 成果指標量 5
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了	〇
説明	本年度においても成果があるため引き続き行う必要がある。	

総合評価		評価区分<A~E> C	
早急な整備の完了は期待できないが、整備実現に向けて努力していく。			

平成22年度以降の方向性・内容		拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了		
方向性	〇			
説明	平成22年度以降も引き続き行う必要がある。			
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	有効性	要望箇所の選定	要望時	要望箇所の整備の実現